

6/2

こよいは花火で 観光客らを魅了

地獄の谷の鬼花火

6月2日(金)、地獄谷展望台で『地獄の谷の鬼花火』(登別観光協会・市主催)のオープニングイベントを開催しました。

今年の開催日初日であった6月1日(木)は、悪天候によりやむなく中止となり、翌日の2日に一日遅れとなる鬼花火の幕開けとなりましたが、約1千400人の観光客や市民が会場に集まりました。

登別観光協会の唐神昌子会長が開会宣言し、花火が地獄谷に打ち上がると、地獄の谷に棲む『湯鬼神』たちが登場。太鼓や鈴を鳴らし、ステージで厄を集める舞いを披露した後、階段に6人の『湯鬼神』が移動して等間隔に並ぶと、手筒花火を勢いよく夜空へと噴き上げ、見るものを魅了しました。

『地獄の谷の鬼花火』は、7月28日(金)までの毎週木金曜日の20時30分に開催します。圧巻のパフォーマンスをご覧ください。

なお、21時30分まで地獄谷遊歩道を照らす『鬼火の路〜幻想と神秘の谷〜』を通年開催しています。鬼花火の後、夜の地獄谷を散策してみませんか。



▲手筒花火を噴き上げ夜空を彩る『地獄の谷の鬼花火』



▲幻想的な世界を体感『鬼火の路〜幻想と神秘の谷〜』

思い思いの首飾り

シカの角でストラップをつくらう!

5月27日(土)、カント・レラで『シカの角でストラップをつくらう!』(カント・レラ主催)を開催しました。

この催しは、縄文文化に関心をもってもらうため、シカの角でペンダントを作り、木製のビーズと共にひもに通して首飾りを作る体験型の行事。子どもやその保護者など参加者12人は、硬いシカ角の面取りに苦戦はしましたが、自分だけの首飾りを作り上げました。

中央町在住の藤田いおりさんは、お母さんと一緒にストラップ作りに挑戦し、「ひもにビーズを通すのが難しかったけど、上手に作れたよ」と笑顔を見せていました。



▲小学生の頃を懐かしむ卒業生



▲解体工事が進められている旧校舎

5/27

今までありがとう

鷺別小学校旧校舎の内覧会

5月20日(土)・21日(日)、27日(土)〜31日(水)の7日間、鷺別小学校旧校舎の見納めとなる内覧会を開催しました(市教育委員会主催)。

平成28年12月に鷺別小学校新校舎が完成し、平成29年4月から供用を開始したことに伴い、解体工事が行われることとなった旧校舎。昭和33年に落成して以来、ときに年間1千人以上の児童たちを受け入れ、60年の歴史の中で多くの思い出を作ってきました。

内覧会には、卒業生や当時の先生など、市内外から153人の方が訪れ、学びやで過ごした思い出に浸っていました。

5/20・21
27~31



▲シカの角とビーズをひもに通す参加者